


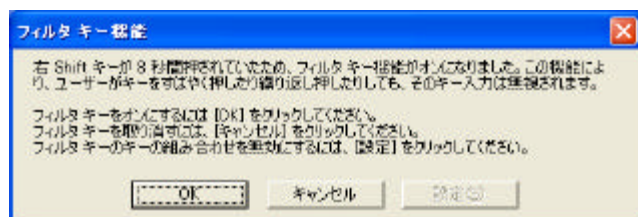
## キー操作の補助機能

WindowsXP には「ユーザー補助」機能として、キー入力がすばやく出来ない、両手を使ってできないユーザにとって、操作を容易にする機能があります。

通常の WindowsXP 環境では、コントロールパネルにその設定機能が  のようなアイコンで用意されていますが、京都産業大学の共用 PC ではこのコントロールパネル部分の操作が制限されているため、以下に示すようなキー操作によってこの機能の on/off を操作する必要があります。

### フィルタキー機能（ゆっくりタイプするのが適しているユーザ向け）

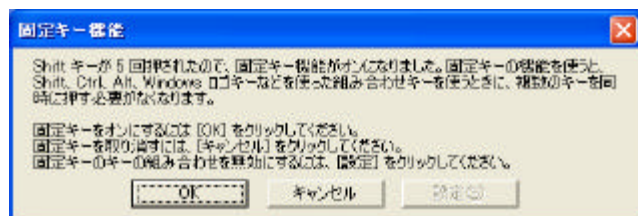
キーを押す速度が早くない、またゆっくりしかキーを押し込めない場合に、このフィルタ機能を試してみると良いでしょう。電源投入後、Login パネルが表示されている状態で、右のシフトキーを 8 秒間以上押し続けたままにしておくと、以下のようなウィンドウが現れます。



ここで「OK」をクリックするか Enter キーを押す事で、それ以降はキーを押して一秒近く押したままにしないと、そのキーを押したと判断しなくなります。普通にキーを押してすぐ離れたとしても受け付けられません。この機能を解除するには、右シフトキーを再び 8 秒以上押し続けてください。特に画面に何かが表示されたりはしませんが、それで解除されます。

### 固定キー機能（シフトキーなど複数のキーを同時に押するのが難しいユーザ向け）

記号など、シフト キーを押しながら離れたところにあるキーを押すような操作が難しい場合には、この固定キー機能を試してみると良いでしょう。電源投入後、Login パネルが表示されている状態で、シフトキーを続けて 5 回押すと、以下のようなウィンドウが現れます。



ここで「OK」をクリックするか Enter キーを押す事で、それ以降は「シフトキーを押しながら数字の 5 を押して % を入力する」かわりに「シフトキーを一度押して、次に数字の 5 を押せば % が入力される」ようになります。つまりシフトキーが一度固定された状態になったわけです。この固定はキー一つだけで自動的に解除され、次に 5 を押しても % ではなく 5 が入力されます。この固定機能はシフトキーだけでなく、Ctrl キー、Alt キーについても働きます。

逆にしばらくシフトキーを固定し続けたい、例えば「(^\_^)」のように続けてシフトキーを押したままの状態にしてキー入力したい場合は、二度続けてシフトキーを押してください。再び二度続けてシフトキーを押すまでは固定状態が維持されます。

この機能を解除するには、シフトキーを続けて 5 回押してください。特に画面に何かが表示されたりはしませんが、それで解除されます。